環境に配慮した取り組み例

省エネルギー

　エネルギー効率の良い設備を使用することで、電力費等のコストを抑えられます。また、**「不要な照明や機器の電源を切る」「エアコンの温度調整」**などといった取り組みも、省エネ対策の一環となります。

・照明のLED化
・空調設備の更新
・店舗スタッフへの省エネ対策推進
・節電、節水　など

脱プラスチック

　バイオマスプラスチックや**代替素材**などを理解しながら、プラスチックと賢く付き合っていくことが大切です。本当にプラスチックでなければいけないのか、その一考が環境保全に繋がります。

・プラスチックの使い捨てを減らす
・マイバッグ、マイボトルの利用
・代替素材を利用した製品の購入
・木製、紙製用品への切替え　など

食品ロス削減

　買い物、調理、保存の際は、状況に応じて**「適量」**の意識を持つことで、廃棄する食材を減らすことができます。

・食べ残しの持ち帰り
・ぶんきょう食べきり協力店への登録
・賞味期限間近の商品の値引き
・量り売り、ばら売り　など

再利用

　ごみの分別は最も身近な環境配慮の取り組みです。
再生利用素材を用いた製品の使用や容器の継続利用など、**リサイクル**、**リユース**で持続可能性を高めることができます。

・リサイクル推進協力店への登録
・使用済製品、容器を回収し再使用する
・商品の修理、下取り
・店頭で資源回収を実施　など

合理的に配慮した取り組み例

視覚障害

　視力や視野等の視機能に障害があり、**見ることが不自由又は不可能になっている状態**です。視覚障害のある人は眼鏡やコンタクトレンズを使って矯正しても、十分な視力を得られません。

・点字・写真付きメニューの用意
・代筆対応
・商品価格や機能などの読み上げ
・補助犬受け入れ態勢の整備　など

聴覚障害

　話し言葉や周囲の音が聞こえなかったり、聞きづらくなったりする状態を指します。障害の程度は様々で、固有名詞や専門用語を聞き間違える程度の状態から、手話や文字などの視覚的な手段を必要としている状態まで多様です。

・筆談対応
・FAXやメールなど、電話以外の問合せ対応の用意
・身振りによる伝達　など

肢体不自由

　四肢や体幹に何らかの姿勢や運動の障害・欠損等があり、日常生活に不自由の続いている状態を言います。障害や不自由の程度には幅があり、例えば神経筋疾患等を原因とする不自由がある人は、呼吸や摂食、嚥下、体温調節等が困難な場合もあります。

・車いす利用者への配慮
・スロープの設置
・飲食店での普通食の再調理
・可動式のテーブルや椅子の設置　など

その他の取り組み例

・飲食店などで、発達障害により大きな声を出してしまう方や聴覚過敏の方のために、個室やパーテーションを用意する
・店舗のトイレを多機能トイレに改修
・合理的配慮提供における従業員への研修の実施、マニュアル整備　など

取り組み例のような対応が難しかったとしても、障害者の方へ声かけや対話を行うことが合理的配慮提供の一環となります。